



圏央道 ゾーン

移住者
インタビュー



ちょうど
いい
ポイント

自然あふれる子どもたちの遊び場、子どもが主役になる楽しいイベントが充実し、のびのび子育てをしたい人にちょうどいい!!

1 地元農家直送の食材を使い、そのおいしさを最大限に引き出すドイツ菓子の製法で手作りされた里奈さんのケーキ。地元ファンも増加中! 生ケーキや焼き菓子、パイなど種類も豊富



1

地元の恵みを生かす ケーキやパイで 地域を笑顔に

君津市

ずし
図師秀敏さん

●東京都から移住。2008年君津市へ ●妻の里奈さん。長男・次男・長女・三男の4人の子どもの6人家族 ●菓子工房・雑貨・カフェの「田園菓子のおくりもの工房 里桜庵」を営む <http://riouan.exblog.jp>

子どもたちとの時間を求めて 空気も星もきれいな土地へ

僕が料理の修業でドイツにいたころ、ドイツ菓子のマイスター校に留学中の妻と仲良くなり、帰国後に結婚。東京でレストランとドイツ菓子の店をオープン。子宝にも恵まれて、約10年そこで生活しました。当時の楽しみは家族で行くキャンプで、空気も星もきれいな清和県民の森のファンになり、近くに別荘がもてたらと、土地を購入。君津市の自然は本当にすばらしいです。

その後、妻が4人目の子どもの産後に体調を崩し、忙しすぎる毎日に対して「このままでいいのか」と考えるように。都会の時間に追われる生活では、家族団らんもままならない。それよりも自然の中でのびのび子育てをしたい。君津市は、緑が豊かなのはもちろん、温泉もあり、東京の妻の実家にもすぐに行ける距離も魅力で、一家で移住に踏み切りました。別荘の予定地に、地元食材にこだわった菓子工房「田園菓子のおくりもの工房 里桜庵」をオープンしたんです。

自然の変化はまるで芸術作品

ちばは空が広い。太陽の向きや光の変化を見ているだけでも、自然が織りなす芸術作品のようで、毎日心洗われる気持ちになるんですよ。家族みんなでちゃんと食べていけるし、豊かな自然を感じながら自分たちのペースで仕事ができる今の生活をとても気に入っています。

子どもたちがいるおかげで幼稚園や学校のPTAでのつながりができ、地域にもすぐに溶け込めました。リタイア後の移住を考えている人も多いようですが、私たちは子育て時期にこそ、ここに引っ越してきて大正解でした。

移住者暮らしを応援

君津市政策推進室、農政課

野菜や果物など、菓子工房の仕入れ先となる農家を図師さんに紹介したのが君津市農政課。地元食材にこだわったお店をオープンすることができました。また、政策推進室では移住を希望する人へのさまざまなサポートをしています <http://www.city.kimitsu.lg.jp/>



2



3

2 移住して驚いたのは、地元食材の豊富さとおいしさ。農家直送の野菜や果物は肉厚で、味が濃く甘みも強い。「この土地だから出せる味に巡り合えました」 3 子どもたちと大好きなキャンプに出かける「千葉県立 清和県民の森」(君津市) 4 自然と調和した優雅なガーデンとおしゃれなショップやカフェがある「ドUBLE・ローズガーデン」(君津市)は、森の中にあるお気に入りのスポット

外国にいる
気分になれるの

4



ちばは地域イベントも楽しい



私たちが〈圏央道ゾーン〉で暮らしています

移住で店を出す夢が現実に！

交際中から夫に「将来はサーフィンが存分にできる一宮町に住みたい」と言われていて、子育てのことも考え、海の近くの新しい住宅街へ家族で移住しました。もちろん夫は、存分にサーフィンができて大満足。予算より安価な土地だったため二区画を購入。その一区画に私の美容院を開店しました。移住で店を開く夢もかないそうです。

一宮町

あびこまどかさん

東京都から移住。2011年一宮町へ。夫と3人の子どもの5人暮らし。美容師。夫は東京都内に勤務で、最寄りが発着駅のJR上総一宮駅なので座れるのもメリットだそう



田舎暮らしと人との交流を満喫

田舎暮らしに憧れて、独身時代に大多喜町で1年間お試し暮らしを経験。自然と共存する生活に魅力を感じました。結婚後、憧れを実現するため夫を説得。転職してもらい長柄町へ移住しました。陶芸家、パティンエなどさまざまな移住者と出会い、また昔から土地に住む人たちと刺激し合いイベントを行って楽しんでいます。

長柄町

西ノ谷未雪さん

埼玉県から移住。2007年長柄町へ。夫と2人の娘の4人家族。房総のどまんなかにある長柄町を盛り上げる「おへそ祭り」を主催する有志「おへそ祭りやらん会」代表



大好きな金谷を盛り上げたい

大学時代のサークルで何度も訪れた富津市金谷。海も山もあり食べもののおいしく、人も空気もあたたかくてすごく居心地がいいんですよ。東京で会社員として働いていましたが、この大好きな金谷を盛り上げたいと移住を決意。金谷の農業を体験するツアーの企画や、誰もが週末農業を気軽に楽しめる仕組み作りを手がけています。

富津市

滝田一馬さん

東京都から移住。2014年から1年間一宮町で農業研修を受けた後、2015年富津市へ。1人暮らし。金谷美術館スタッフとして勤務する傍ら、「農」を軸としたまちおこし事業を展開中

